

# 令和4年度 十勝管内行政福祉担当者研修会 開催報告



十勝管内行政福祉担当者研修会も今年で3回目を迎え、担当の方の入れ替わりが多い年となりました。その様な中、令和6年の福祉計画の策定をはじめ、行政機関の抱えている課題は多岐にわたり、情報交換が活発に行われました。

## 話題提供①

障がい者雇用率達成割合 49.6%→50.4%へ  
43.5人～100人の企業 130社中7企業が新規雇用  
十勝は札幌に次いで労働人口・障がい者雇用数が多い  
統計となりました

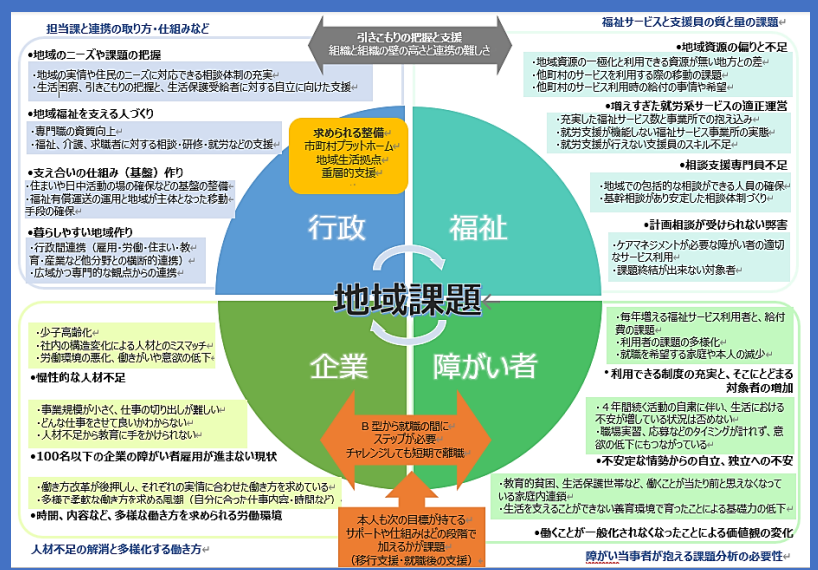
## 話題提供②・・・清水町より

ひきこもり支援体制の構築に係る取組事項  
【令和4年10月11日現在】

1. ひきこもり支援の主となる担当部局
2. ひきこもり相談窓口の明確化・周知
3. 支援対象者の実態やニーズの把握
4. 市町村プラットフォームの設置・運営

各内容について19市町村へのアンケート調査による取組事項の一覧を提供いただき、この内容をグループワークの1つの題材とし話し合いを進めました

## 各地域の課題を聞き取り集約しました



## グループワーク① 各地域の情報交換・・・制度の多さや変更より皆さんの抱える負担の多さが伺えるトピックスを紹介します

### 福祉課の持つ役割や課題について

- ・計画策定に向けたアンケートの取り方
- ・町村の規模による、担当者の役割と負担感
- ・各自治体の自立支援協議会の動向

### 障がい福祉サービスに関すること

- ・相談支援体制について移動支援について
- ・療育について・各自治体の相談支援体制や障がい福祉サービスに関する窓口対応の共有

### ニーズ把握と就労に関する事

- ・ひきこもりについて
- ・障がい者雇用のマッチングや企業へのアプローチについて

## グループワーク② 課題別討議

### 障害福祉計画、障害者計画の策定

アンケートの集計と分析をしている市町村もあり、その方法を研修会後に共有することになりました。ヤングケアラーに関しては重点項目としながらも、根拠法の違いから担当課を超えての検討が必要な課題です。

### 自立支援協議会について

運営方法や部会の設置に関する情報共有が行われ、機能している市町村担当者からの情報提供がありました。地域の必要な課題を取り上げ、ネットワーク良く動いているところもありました。

### 相談の人手不足について

基幹相談支援センターが設置されている町村が少なく、相談支援体制と人材の確保が必要との状況でした。また、福祉専門員の配置を望む声も多く、障がい福祉だけではない、地域・家族・生活を捉えた相談体制の必要性が話されました。

一般的に行政担当者は数年で異動されることが多く、その都度慣れない業務内容に奮闘されていることを察するとともに、我々関係機関へのご協力をいただいていることに改めて感謝申し上げます。経験の浅いグループの討議では制度の勉強や窓口対応を学びたいとの声もありました。課の中核を担っている方、専門資格を有する方、相談支援専門員をされている方など、様々な役割の下、情報を求めているということを感じた会となりました。市町村行政の中での横のつながりはもちろん、地域の同じ課の担当者とのつながりからヒントを得ることも重要です。移動支援・住民アンケートなどの情報交換を今後行うという話も伺い、会の役割を感じる機会となりました。地域経済の縮小や高齢化による医療介護の需要ひっ迫、貧困問題、財政の圧迫など様々な問題に直面している行政担当の皆さんにとって、今後も一緒にテーブルで話が出来る機会を作っていきたいと思っております。そのためにも、皆さんからお寄せいただく相談や課題が我々の集約の為に必要不可欠です。引き続きの連携をお願いいたします。